

対象地域		大東市 四條畷市
実施主体	連携の拠点	大東・四條畷医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	大東市、四條畷市

令和6年度の取組内容（予定を含む）		取組・予定
	①会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療の状況把握、連携上の課題抽出や検討を行う懇話会や専門部会（既存の医介連携事業の会議の対象を拡大） （6月から3月、10回） ■ICTを活用した情報共有にかかる検討会 （9月から3月、7回） ■地域の積極的医療機関における非常用電源貸出の運用検討会 （6月14日、10月15日、2月予定）
	②地域の資源の把握・関係機関との調整	
	③急変時対応等の体制構築等	<ul style="list-style-type: none"> ■入退院連携会議、ケアマネ合同会議（6月から3月） ■救急隊、介護・医療職の多職種チームで救急医療体制の検討（9月から3月）
	④在宅医療にかかるとの研修	<ul style="list-style-type: none"> ■介護職向け在宅医療にかかる研修会 ・ここまでできる在宅医療（12月7日） ・急変時の対応（1月） ・在宅看取りケア（2月）
⑤在宅医療の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ■地域住民へ ・人生会議（ACP）と在宅医療の普及啓発講習会（2月1日） 	

進捗	<p>①在支診間の連携強化、在宅診療上の課題解決のため第1回懇話会を開催。参加医療機関の中から強化型在支診を申請するに至った。第2回懇話会では訪問看護ステーションとケアマネジャーとICTを活用した多職種連携チーム医療体制構築について検討の予定。</p> <p>②入退院連携、救急連携、災害発生時にICTを活用した連携について関係各機関と検討中。</p> <p>③「医療への連携が必要な日常よく見る疾患」をテーマに、事例を踏まえた介護職への研修を12月に予定。</p> <p>④大東・四條畷救急と連携し人体モデル、AEDを使って行う介護職のための急変時対応研修会を1月に予定。</p> <p>⑤「在宅看取り」が浸透するためには介護職のスキルアップも必要。看取り前期からのケア、死の兆候、グリークケアについて介護職対象研修会を2月に予定。</p> <p>⑥市民が「望まぬ最期」とならないように、かかりつけ医をもつ意義、健康期からのACP、意思決定の重要性、在宅医療でできる事等について事例をあげて市民啓発講習会を開催予定（2月）。</p>
----	---

課題	救急発生時における介護職・看護職の同行が課題
----	------------------------